

JET からの手紙

地域の国際化に向けて

佐賀県有田町商工観光課

Vincent Heuser (ヴィンセント・ホイザ)

きっかけ

私が JET プログラムの存在を知ったのは、初めて日本に留学した高校生の時です。その後、大学生のときにも日本に留学したのですが、2度の留学期間中、本当にたくさんの人にお世話になりました。親切に受け入れていただき、たくさんの幸せな思い出ができた日本。そんな日本で働き、恩返しがしたいと思う気持ちが強くなりました。また、日本で暮らした経験がある外国人として、新しく日本にやって来る外国人をサポートしたいという気持ちも芽生え、JET プログラムに参加したいと心に決めました。

国際交流員としての仕事

有田町に派遣されている国際交流員は1人で、業務の内容は、姉妹都市に関すること、翻訳通訳、言語教室の開催、保育園や小中学校訪問、広報紙へのコラム掲載など、多岐にわたります。全ての仕事に楽しく取り組めていますが、特に人の手助けをすることや人と人をつなぐこと、言葉や異文化について教えることにやり甲斐を感じています。

有田町のような小さな街にも世界中のさまざまな国から来た外国人が暮らしています。しかし、言葉が通じないことで町の方との交流が困難な方がたくさんいるのが現状です。有田町では私が働き始めるまで、町内に在住外国人向けの日本語教室がなかったため、「日本人住民との交流を図りながら日本語を楽しく勉強できる場を提供したい」という思いから日本語教室を開きました。「外国人が他の外国人に日本語を教える」と聞くと、不思議に思う人もいるでしょう。しかし、日本語学習が難しいと感じている外国人の悩みに共感し、自らの経験を踏まえて教えることができるのは、同じ外国人である講師だからこそできることで、最適な役割だと感じています。

有田町の日本語教室では、単に言葉の勉強をするだけでなく、コミュニティ作りにも取り組んでいます。特に、せっかく日本に来た外国人が、そう長く日本にいる予定でないことを理由として、日本人とあまり親しくできないまま帰国してしまうのは非常にもったいないと感じます。日本人と親しくなるきっかけになればと思い、日本語教室に日本人のサポーターを呼んだり、遊びに来てもらったりしています。ただ、今年は新型コロナウイルスの影響で、以前のように教室に集まって、一緒に勉



毎年開催しているドイツ親子ふれあいタイム



日本語教室の参加者とともに

強するのが難しくなっていました。そのため、去年の3月からオンラインに切り替えて、勉強を続けています。

町民向けの英会話教室も同様にオンライン開催に切り替えました。こちらは年配の方も多く、オンラインに切り替えることで、授業が円滑に実施できなくなるのではないかと、勉強が捗らなくなるのではないかとといった不安がありました。しかし、ほとんどの参加者はオンライン授業にも積極的に参加してくれています。コロナが流行する以前は、日時と場所の関係上、どうしても有田町近郊の街に住んでいないと参加が難しい状況でした

が、オンラインに切り替えたことで、県内はもとより県外に住んでいる方も参加していただけるようになりました。参加者の範囲が拡大し、英会話教室はさらに活発になりました。

姉妹都市交流

有田町は、ドイツのマイセン市と1979年から姉妹都市提携を結んでいて、1992年から青少年交流を実施しています。2019年にはマイセン市から青少年14人が有田町を訪れ、ホームステイしました。2020年には有田町でホームステイ先となったお宅の子どもをはじめとする青少年たちがマイセン市を訪れる予定でしたが、コロナのため延期を余儀なくされました。2021年に延期されてはいるものの状況は落ち着いておらず、実施できるかどうかかわからない状況です。過去28回続いてきた青少年交流をしばらく休止しなければならないのは、とても残念なことです。マイセン市を訪問予定の参加者たちは、個別にホームステイ先の家族とビデオ通話やメールで連絡を取り合っています。しかし、実際にドイツまで行き、現地で直に体験・体感することに及ばないとは言うまでもありません。

国際交流員としての抱負

有田町での仕事が継続している間にコロナが終息する



姉妹都市であるドイツのマイセン市で有田の皿踊りを披露

かどうか、未来が予測できない状況が続いています。現在は任期3年目であり、本来であればJETプログラム終了後に向けた活動や有田町に派遣される次の国際交流員の来日に向けた準備を行うはずでしたが、今年度予定していた業務もほとんどできていない状況です。このままJETプログラムが終了してしまうのは、やるせないと感じていたところ、幸いにも1年間の延長が決定しました。国際交流員として活躍できる期間が延びたことを嬉しく思うとともに、成果を残すチャンスが与えられたことに感謝しています。今後も臨機応変に有田町のさらなる国際化のため最善を尽くします。

プロフィール



Vincent Heuser

ドイツ、ベルリン市出身。高校時代に宮崎県日南高校に1年間留学。ハンブルク大学日本学部在学中の2016・17年に福井大学に1年間ずつ2度留学。2018年に大学卒業後、国際交流員として有田町役場に着任。現在3年目。JETプログラム終了後も日本国内での就職を希望。趣味は、スポーツ、日帰り旅行、三味線など。